

令和3年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 東京都下水道サービス株式会社	エントリー部門 <input type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・任意団体等
取組名 水面制御装置による合流改善のしくみを、模型を使った出前授業で子どもたちにわかりやすく伝える	
責任者 氏名： 所属：技術部企画調整課 電話：03-3241-0836 E-mail：	
担当チームの構成 （外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい） 社員 2名（出前授業での説明者）	
取組のポイント （一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい） ・子どもたちに下水道の重要性を知ってもらうため、普段は見られない下水道施設や、下水道を支える技術の仕組みを間近に見てもらい、下水道の存在に気付いてもらう。	
アピールポイント ・模型を活用して、子どもたちが興味を持ち、理解しやすい説明を行っています。 ・具体的には、模型に実際に水を流して、水再生センターと河川などの公共用水域に水が流れる様子を再現します。そして、水面制御装置がない場合は、水に浮かぶゴムのごみが河川に流れて行ってしまいが、水面制御装置がある場合は、渦巻きが発生して水再生センターへのごみを集めることができる仕組みを、実際の水の動きで再現することができます。	
要したコスト ゼロ（模型は制作済みのため）	

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

杉並区立井荻小学校では、4年生の総合学習で、身近な善福寺川の環境をテーマに学習に取り組んでいます。

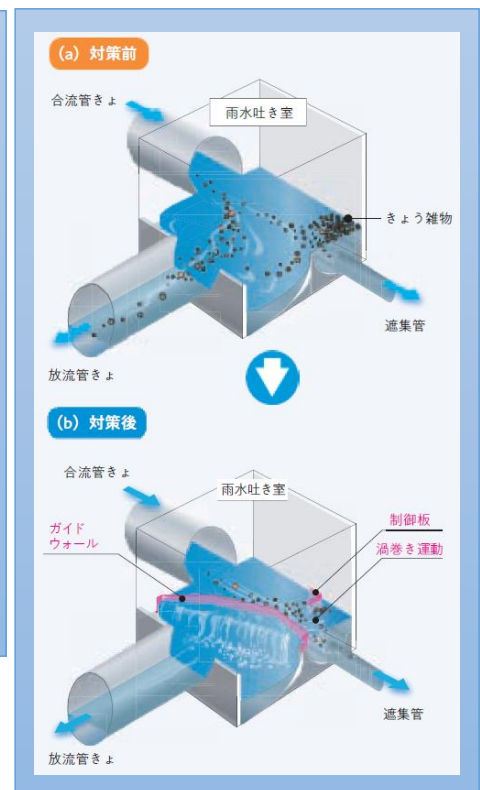
学校からの依頼により、TGSは出前授業を行いました。東京都では大部分の地区で、雨水と汚水が一本の下水道管に流れ込む合流式下水道が採用されていて、子どもたちにとって身近な自然である河川に、雨天時には合流式下水道からごみが放流されてしまうことを説明しました。

放流されるごみを減らすため、吐口に「水面制御装置」を設置しています。この装置は、ごみが河川に放流されないように、渦を形成する仕組みですが、言葉や模式図では理解が難しいため、この装置の仕組みを分かりやすく理解できるよう、模型を作成しました。

この模型を活用して、小学生に下水道が水環境を守る役割を理解してもらうため、出前授業を実施しています（杉並区立井荻小学校、令和2年度から）。



- ・実際に水が流れる模型を見て、子どもたちは「ゴミが吸い込まれたよ！」
「ここに渦が巻いている！」と、歓声をあげていました



水面制御装置概要図

成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

- ・小学4年生84名に、驚きと実感を伴って合流改善の仕組みを伝えることができた。
- ・昨年度に引き続き、今年度も出前授業を実施する予定。